

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	とりのき保育所運営事業			
予算科目	3 款 2 項 3 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 少子化対策の充実			
所管課情報	担当課:	子育て支援課	電話番号(内線):	552
記入者情報	所属長:	西川 重子	担当責任者:	川本 英人
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市内に居住し、保育に欠ける0～5歳児のいる世帯で、仕事の関係等でとりのき保育所に入所を希望する人			
根拠法令等	児童福祉法			
事業の目的	保護者の労働又は疾病等により、監護を必要とする乳児、幼児及び児童が保育に欠ける場合において、保護者からの申込みに基づき、当該児童等をとりのき保育所に入所させ、保育を行う。			
事業の内容	保護者の仕事の都合などにより、保育に欠ける乳児、幼児及び児童をぐんちゅう保育所で保育する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	施設改修に伴って入所定員の増加を図れたことから、今後の適切な施設運営に努めていく。			
改善策の 具体的 取り組み	施設改修による乳児室・ほふく室の有効利用を行い、引き続き適切な施設運営を行っていく。			

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	112,940	53,988	22,404	51,154
	人件費	1,750	1,528	1,528	1,528
	合計	0	55,516	23,932	52,682
人件費 内訳	人工数	0.22	0.19	0.19	0.19
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,749	1,527	1,527	1,527
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	114,690	55,516	23,932	52,682

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
入所児童数(月単位の延べ人数)	人	1359	1367	673	1363
保育士・調理員数(臨時・パート)	人	28	28	28	28
保育料(現年度調定額)	千円	29314	29303	14433	29282
保育料(現年度滞納額)	千円	906	834	417	849

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	47,000	47,000	47,000	0	0	141,000

成果指標				
成果指標	保育所入所者数(延べ人数)			
指標設定の考え方	入所児童1人当たりの事業費を成果指標に定め、今後の児童数の減少及び施設の老朽化に基づく、指標の増を計画的に抑止する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標27年度
目標	1080	1500	0	0
実績	1359	1363	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	乳児保育室が充実し、保育環境を整ったことから、乳児保育の充実を図る必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	園独自性の保育を行い、新設した乳児室を十分に活用した保育を行う必要がある。 保育サービスについては充実をしているため、利用者への周知を図っていきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	